

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

令和4年度事業報告

はじめに

都市における働き方や住まい方が問い直され、都市における身近な緑の空間の重要性が改めて認識・評価されるなかで、多様な機能を有する都市緑地の活用、保全・再生、良好な緑化空間の創出、緑化の推進が求められるようになってきている。

また、国際目標である SDGs（持続可能な開発目標）の達成や、国としての目標である 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた GX に対する積極的な取り組み等が進められている。

こうした動向を踏まえ、都市の緑に関する調査・研究・技術開発や、緑の保全・創出に関わる情報の発信による市民、事業者、地方公共団体等の様々な取組への支援、優れた緑化活動を行う団体等の顕彰・助成の実施等により、みどりの「わ」を構築し、みどりに関する国民運動の推進等が、当機構が実施する各事業にも求められている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染防止の対策、SDGs の達成、新しい生活様式（ニューノーマル）等に配慮しながら、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりの実現を目指し、公益財団法人としての運営面の強化を図りながら、各事業の一層の展開、推進を行った。

1 都市緑化に関する普及啓発

(1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、第39回全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道 2022」を、恵庭市内の花の拠点「はなふる」、中島公園、隣接する河川空間、及びまちなかエリアをメイン会場に開幕した。

主 催 北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構
開 催 地 メイン会場：花の拠点「はなふる」・中島公園、隣接する河川空間、
まちなかエリア
協 賛 会 場：道内32か所の公園・庭園等
スポット会場：道内20か所の花のみどころ
開催期間 令和4年6月25日（土）～7月24日（日）（30日間）

また、フェアにおける普及啓発催事の一環として、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献等に顕著な功績が認められ全国の範となる企業の取組みを顕彰す

る、第 10 回みどりの社会貢献賞の表彰式を全国都市緑化祭において実施した。受賞した企業、社会貢献活動は以下のとおり。

- ・ 出光興産株式会社「北海道製油所」 （北海道苫小牧市）
- ・ 武田薬品工業株式会社「京都薬用植物園」 （京都府京都市）
- ・ サッポロビール株式会社(共同事業者：雪印種苗株式会社)「北海道工場」 （北海道恵庭市）

令和 4 年度は上記の 3 件のほか、みどりの社会貢献賞に準じる優れた取り組みとして以下の特別賞の授与を行った。

- ・ 株式会社アレフ(共同事業者：NPO 法人共育フォーラム)「えこりん村学校・えこりん村の子どもたち」 （北海道恵庭市）
- ・ 株式会社ノーザンホースパーク(共同事業者：有限会社ノーザンレーシング、ノーザンファーム)「馬事文化の振興・発展と北の恵みを活かした社会貢献」 （北海道苫小牧市）

さらに、北海道内において、子どもたちの環境教育に係るプログラム運営に取り組んだ 5 団体に対し、公益財団法人高原環境財団の協力により活動支援を行った。

(2) 全国都市緑化祭

第 39 回全国都市緑化北海道フェアの中心的な行事として、佳子内親王殿下の御臨席のもと、令和 4 年度全国都市緑化祭を開催した。

式典では佳子内親王殿下のおことばを賜り、その後、メイン会場である花の拠点「はなふる」とまちなかエリアをご視察、「はなふる」の中央芝生広場において記念植樹を行った。なお、主催である恵庭市において「全国都市緑化祭」が開催された 7 月 13 日を記念日として「恵庭市花と緑の記念日を定める条例」が制定された。

主 催	国土交通省、北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	恵庭市総合体育館
開 催 日	令和 4 年 7 月 13 日 (水)
式典概要	主催者挨拶 佳子内親王殿下おことば 表彰 ・庭園出展コンテスト ・みどりの社会貢献賞 児童による都市緑化宣言

閉会宣言（式典終了後、会場ご視察、記念植樹）

（３）都市緑化キャンペーン及び普及啓発ポスター

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり、都市緑化推進運動協力会の事務局として、都市緑化キャンペーンを開催した。

毎年 10 月の都市緑化月間中に開催している都市緑化キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面での開催を中止してきたが、3年ぶりに従来の形式で開催した。

また、小中学校の壁新聞「育て！子どもたち」（株式会社産経広告社）を活用し、子どもたちの公園緑地の利用促進の普及を目指した記事「いつもの公園で、新しい発見をしてみよう」を作成し掲出した。

その他、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、普及啓発ポスター等を作成し、以下のとおり配布、掲載した。

１）都市緑化キャンペーン

主 催 都市緑化推進運動協力会（企画運営 公益財団法人都市緑化機構）
実 施 日 令和4年10月24日（月）
会 場 都立日比谷公園 噴水前広場 特設ステージ（東京都千代田区）
概 要 全国都市緑化フェア、2027年国際園芸博覧会等、緑化推進PR、花苗400鉢の配布
参加者数 約700人（日比谷公園ガーデニングショー来場者177,000人）

２）普及啓発ポスター

時 期 「春季における都市緑化推進運動」（4月1日～6月30日）
「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）
配布枚数 各12,000枚
配 布 先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道 協会加盟の私鉄各社等905団体及びその関係団体

（４）スカイフロントフォーラム

都市に残る貴重な未利用空間である屋上や壁面を緑化することにより、都市景観の向上、都市環境の改善を図ることを目的として、特定非営利活動法人屋上開発研究会との共催により「スカイフロントフォーラム」を開催してきた。

令和4年度は、これまで開催してきた「スカイフロントフォーラム」の取りまとめ等を実施し、令和4年3月の同研究会解散に合わせ、令和4年度をもって事業を終了した。

（５）その他

令和4年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

2 都市緑化に関する顕彰・助成

(1) 都市の緑3表彰

1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第42回「緑の都市賞」は、審査委員会（令和4年9月14日（水）開催。委員長：樺山 紘一 渋沢栄一記念財団理事長）を経て、以下の11件が受賞した。

第42回緑の都市賞 受賞者一覧

賞	部門	受賞作品（所在地）受賞者
内閣総理大臣賞	緑のまちづくり	持続可能な「森の都」の大展開（熊本県熊本市） 熊本市
国土交通大臣賞	緑の市民協働	時を超える杜のキャンパス --響き合う自然・人・学び （宮城県仙台市） 学校法人宮城学院/水の森里の会
	緑の市民協働	都市公園でのビオトープとナチュラルガーデンづくり （滋賀県大津市） 森の風音/せた♪森のようちえん
	緑のまちづくり	公園再整備が牽引する公民連携まちづくり（愛知県岡崎市） 岡崎市
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	里山まるごと花と雑木による木漏れ日計画（山口県周南市） 「鹿野の風」プロジェクト
	緑の事業活動	東京ワールドゲート “葺城の森”（東京都港区） 森トラスト株式会社/株式会社安井建築設計事務所/清水建設 株式会社/株式会社ランドスケープ・プラス/株式会社ワーク テクト
	緑のまちづくり	上尾丸山公園水辺再生事業 みんなの持続「力・緑」 （埼玉県上尾市） 上尾市
第一生命財団賞	緑の市民協働	育てる芝生～イクシバ！プロジェクト～（東京都中央区） 育てる芝生～イクシバ！プロジェクト～
奨励賞	緑の市民協働	取手市里山・谷津田保全「いもりの里」事業 （茨城県取手市） 取手市里山・谷津田保全「いもりの里」協議会
	緑の事業活動	CO・MO・RE YOTSUYA（コモレ四谷）（東京都新宿区） 株式会社日本設計/独立行政法人都市再生機構/株式会社三菱 地所設計/大成建設株式会社一級建築士事務所

賞	部門	受賞作品（所在地）受賞者
奨励賞	緑の事業活動	東京ポートシティ竹芝オフィスタワー（東京都港区） 東急不動産株式会社/鹿島建設株式会社/株式会社ランドスケープデザイン

2) 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第33回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施した。

第33回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（令和4年8月23日（火）開催。委員長：進士 五十八 福井県立大学学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約2,400万円（1団体あたり約800万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1,000万円（1団体あたり約100万円）の助成を決定した。

第33回緑の環境プラン大賞 受賞者一覧

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	住民が憩う新しい里山「八木山テラス」の創生	宮城県 仙台市	金剛沢緑地愛護協力会
ポケット・ガーデン	緑が育つ人が集まるみんなのガーデン「ららぱーく」	千葉県 市原市	花咲き山

●都市緑化機構賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	北潟湖畔ガーデン体験と交流が生まれるクロステラス	福井県 あわら市	特定非営利活動法人 a w a r a r t

●第一生命賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	札幌イオルの森	北海道 札幌市	札幌アイヌ協会

●第一生命財団賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	自然やいのちと共生する不登校の子どもの居場所づくり	滋賀県 大津市	一般社団法人異才ネットワーク

●コミュニティ大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	食・農・遊び五感を育む園庭作りプロジェクト	宮城県 遠田郡 美里町	社会福祉法人想伝舎
ポケット・ガーデン	みんなの広場いこいの杜	群馬県 藤岡市	群馬県立藤岡北高等学校 環境土木科 ガーデニングコース
ポケット・ガーデン	富岡の歴史に触れる庭プロジェクト	群馬県 富岡市	群馬県立富岡実業高等学校 草花部
ポケット・ガーデン	みんなの花壇プロジェクト	新潟県 北蒲原郡 聖籠町	新潟県立島見緑地聖籠緑地 指定管理者 株式会社日建緑地
ポケット・ガーデン	どんぐりの森コミュニティガーデン	岡山県 備前市	特定非営利活動法人 備前プレーパークの会
ポケット・ガーデン	ウェルカム「レイン」ガーデン” ぽぽぽ”	香川県 高松市	香川大学創造工学部 環境デザイン工学領域
ポケット・ガーデン	1年まいにちワクワクを見つけに行こう！	大分県 中津市	社会福祉法人如水福祉会 如水こども園
ポケット・ガーデン	季節を感じる熊農緑地～地域の拠点としての役割を発信する空間づくり～	熊本県 熊本市	熊本県立熊本農業高等学校

3) 屋上・壁面緑化技術コンクール

建築物等の屋上や壁面、人工地盤などの特殊空間における緑化技術の普及推進による都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、優れた緑化技術を用いて、ヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保といった都市環境の改善やみどりを活用した新たな空間の創出を実現した作品を顕彰している。今回も応募作品の面積が 300 m²以下の「小規模空間の緑化」をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第 21 回「屋上・壁面緑化技術コンクール」は、審査委員会（令和 4 年 9 月 6 日（火）開催。委員長：山田 宏之 大阪公立大学農学部教授）を経て、以下の 7 件が受賞した。

第 21 回屋上・壁面緑化技術コンクール 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
国土交通大臣賞	屋上緑化	GREEN SPRINGS（東京都立川市） 株式会社立飛ホールディングス/株式会社立飛ストラテジーラボ/ 株式会社ランドスケープ・プラス/株式会社山下設計/株式会社大林組/株式会社日比谷アメニス

賞	部門	受賞者
	壁面・ 特殊緑化	JR 熊本駅ビル（熊本県熊本市） 九州旅客鉄道株式会社/株式会社 JR 熊本シティ/株式会社日建設計/ 株式会社大林組/安藤造園土木株式会社/株式会社グリーンバル
環境大臣賞	屋上緑化	東京ポートシティ竹芝オフィスタワー（東京都港区） 東急不動産株式会社/鹿島建設株式会社/株式会社ランドスケープ デザイン
	壁面・ 特殊緑化	CO・MO・RE YOTSUYA（コモレ四谷）（東京都新宿区） 大成建設株式会社一級建築士事務所/独立行政法人都市再生機構/ 株式会社日本設計/株式会社三菱地所設計
日本経済 新聞社賞	屋上緑化	日環アリーナ栃木（栃木県総合運動公園東エリア） （栃木県宇都宮市） 株式会社梓設計/大成建設株式会社/株式会社安藤設計/有限会社ソ ラ・アソシエイツ
	特定テーマ	竹中技術研究所・技術展示室グリーンラウンジ（千葉県印西市） 株式会社竹中工務店/株式会社パーク・コーポレーション/国立大 学法人千葉大学/株式会社朝日興産
都市緑化機構 会長賞	屋上緑化	WATERS takeshiba（東京都港区） 東日本旅客鉄道株式会社/株式会社 JR 東日本建築設計/株式会社ラ ンドスケープデザイン/清水建設株式会社

※令和4年度は奨励賞の受賞なし

4) 都市の緑三賞表彰式の開催

「緑の都市賞」、「緑の環境プラン大賞」、「屋上・壁面緑化技術コンクール」の受賞団体を表彰するため、佳子内親王殿下のご臨席のもと、「第5回みどりの『わ』交流のつどいー都市の緑三賞表彰式ー」を開催した。

同表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面での開催を中止してきたが、感染防止対策等に配慮し、3年ぶりに従来の形式に準ずる内容で開催した。

主 催 公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団

開 催 日 令和4年11月21日（月）

会 場 明治記念館（東京都港区）

式典概要 主催者挨拶

佳子内親王殿下のおことば

来賓祝辞

受賞作品紹介

(1) 第42回緑の都市賞

(2) 第33回緑の環境プラン大賞

(3) 第21回屋上・壁面緑化技術コンクール

受賞者代表挨拶

「都市の緑3表彰」受賞作品パネル説明

閉会

(2) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と、子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

令和4年度は、令和元年に助成対象となった計36団体に対し活動助成を行った(3年目25万円)。

また、本事業で助成してきた団体を中心に市民が携わる緑化活動の広報推進の一環として、団体間の交流・研磨研鑽を目的としたオンライン交流会を以下のとおり開催した。

もりハグ！交流会 2023

日 時 令和5年2月2日(木) 13:30~15:30

開催方法 ウェブ会議

開催概要 第1部 講演会

講師：菊池 俊一 山形大学農学部 准教授

演題：つなぐ森づくり つながる森づくり

第2部 活動報告

報告1 かしわら森の会 「玉手山こども体験の森づくりプロジェクト」

報告2 「鹿野の風」プロジェクト

「里山まるごと花と雑木による木漏れ日計画」

- 参加団体
- ・セーフア野草塾
 - ・やす緑のひろば
 - ・みどりのまちづくりグループ
 - ・New 福岡グリーンヘルパーの会
 - ・こうべ環境未来館
 - ・ナシオン創造の森育成会
 - ・四日市大学エネルギー環境教育研究会事務局
 - ・結城里山の会
 - ・たぶのきネットワーク石巻
 - ・NPO 法人北本雑木林の会
 - ・かしわら森の会
 - ・公益財団法人グリーントラストうつのみや
 - ・NPO 法人北本雑木林の会
 - ・NPO 法人京おとくに・街おこしネットワーク
 - ・近自然森づくり協会
 - ・NPO ネットワークみどり緑
 - ・池の沢に螢を増やす会
 - ・グラウンドワーク大山蒜山
 - ・湘南二宮ふるさと炭焼き会
 - ・特定非営利活動法人ジョイライフさやま
 - ・花王株式会社

- ・特定非営利活動法人小笠原野生生物研究会
- ・湖西フロンティア倶楽部
- ・二六公園保存会
- ・山形大学
- ・かしわら森の会
- ・NPO 法人珊瑚舎スコーレ
- ・「鹿野の風」プロジェクト
- ・クワガタ探検隊

本事業は、平成12年の開始から20年超が経過し、これまで47都道府県で499団体（事業への応募総数は2,586団体、参加人数は約50万人）への助成を行ってきた。これまでの成果を踏まえ、本事業は一定の成果を収めたと考え、令和4年度をもって事業を終了した。

また、活動助成の成果、これまで本事業で助成してきた団体を中心とした市民が携わる緑化活動の広報推進を目的としたWEBサイト「もりハグ！」を公開した。

（3）全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第32回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（令和4年7月29日（金）、9月2日（金）に開催。委員長：齋藤 京子 一般社団法人家の光協会理事）を経て、以下の91件が受賞した（なお、第31回「全国花のまちづくりコンクール」より、入賞回数在一定数に達した方々の継続的な活動を特別に称えることを目的とし、新たに「特別賞」を設けている）。

第32回「全国花のまちづくりコンクール」 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
花のまちづくり大賞	国土交通大臣賞	団体 野間大池公園花学校（福岡県福岡市）
		個人 高島 孝子・直宏・千鶴（香川県多度津町）
	農林水産大臣賞	個人 鳥山 順子（群馬県嬲恋村）
		個人 水田 進（兵庫県洲本市）
文部科学大臣賞	学校 牧之原市立萩間小学校（静岡県牧之原市）	
花のまちづくり優秀賞	市町村	鴻巣市（埼玉県鴻巣市）
	市町村	館山市・株式会社塚原緑地研究所（千葉県館山市）
	団体	伊賀野の花畑（群馬県みなかみ町）
	団体	エコガーデンはるひ野（神奈川県川崎市）

賞	部門	受賞者
花のまちづくり優秀賞	団体	あじさいボランティア（神奈川県相模原市）
	団体	富山市立新庄北小学校&地域団体 （富山県富山市）
	団体	天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト（静岡県浜松市）
	団体	上丹生プロジェクトK（滋賀県米原市）
	団体	広棚 花の里グループ（徳島県美馬市）
	個人	福田 具可（群馬県中之条町）
	個人	佐野 誉志照・恵美子（静岡県浜松市）
	企業	セブンイレブン潮芦屋店（兵庫県芦屋市）

- ・花のまちづくり奨励賞 [9件]
- ・花のまちづくり入選 [55件]
- ・花のまちづくり努力賞 [7件]
- ・特別賞 [3件]

（４）ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を地方公共団体等への提供を行っている。

令和４年度は、以下 20 団体に対し、コミュニティプランター、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設計 42 基を提供した。

都道府県 : 群馬県、新潟県、富山県、石川県

政令市 : 仙台市、新潟市、浜松市、北九州市、熊本市

その他市町村 : 八戸市、横手市、足利市、前橋市、戸田市、朝霞市、梶原市、焼津市、一宮市、射水市、小布施町

（５）まちニワ創出活動助成

事業の実施に向け、助成内容、協賛企業との連携等について企画、検討を行った。

（６）その他の助成

東日本大震災等激甚災害の被災地において、仮設住宅や災害公営住宅等の居住環境を改善し、居住者の方々に対し植物を通じて精神的側面から支援することや、街なかでの花やみどりによる景観形成を目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により地方公共団体へ花苗とプランターの提供を行っている。

令和4年度は、以下8団体に対し、計400基を提供した。

岩手県：大船渡市、大槌町
宮城県：仙台市
東京都：狛江市
千葉県：市原市、館山市、芝山町
熊本県：熊本市

3 都市緑化に関する調査、研究、技術の開発及びこれらの成果の普及

都市環境の改善やみどり豊かな都市の実現を図るため、令和4年度において、共同研究、受託研究等の方法により、以下に係る調査、研究等を行った。

(1) 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 公園緑地における防災技術に関する調査研究

都市公園の防災機能の向上に関する調査研究について、令和4年度は近年発生した風水害への対策に貢献する流域治水に対応した防災公園の検討を進め、この一環として熊本県内の水害被災地や、静岡県内の津波対応施設を有する公園等の調査を実施した。

また、「改訂版 防災公園技術ハンドブック」を基に防災公園の整備、都市公園の防災機能向上に関する課題や実際の管理運営事例、防災公園の今後の方向、計画・設計技術について周知する「防災公園技術研修会」を下記の通り開催した。

防災公園技術研修会 2022 熊本

日 時 令和4年5月12日(木)、13日(金)

会 場 熊本市動植物公園、水前寺江津湖公園他

講 演 防災公園に関する国土交通省の取り組み

国土交通省九州地方整備局 公園調整官 斉藤 和義
地震や水害を踏まえた防災公園の期待と役割

熊本県立大学 教授 柴田 祐

熊本地震時の公園の実態と復旧

熊本市公園課 課長 弓削秀和

「改訂版防災公園技術ハンドブック」の内容の解説

防災公園とまちづくり共同研究会 手代木 純、長澤 真也、鈴木 綾

② ユニバーサルデザインに関する調査研究

障がい当事者ととともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティの研究、障がいの有無に関わらず公園の魅力を満喫する方法を研究する事業（公園を歩こう）の実施、従来のユニバーサルデザインの視点に「訪れる

全ての子どもが同じように楽しく遊べる」という視点を強化したインクルーシブ公園・インクルーシブ遊具及び新のユニバーサルデザイン施設についての情報交換、視察等を行った。また、公益財団法人彫刻の森芸術文化財団（箱根彫刻の森美術館）からの依頼を受け、職員向けにユニバーサルデザイン研修を行った。

③ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

公園や緑地の新しい活用として、民間活力によって再整備された緑地についてヒアリングを実施した。また、コロナ禍における公園や緑地の維持管理や利用のされ方に関するヒアリング、グリーンインフラの普及に向けた検討等を実施し、これからの時代におけるみどりによる都市環境の保全・育成及び魅力ある都市環境の創造を目的とした事業活動並びにその健全な経営管理手法に関しての調査研究及び技術開発について、大学、事業者等が共同で調査し、その有効な手法等の検討を行った。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策の推進等に関する調査
- ・先駆的な緑化関連技術開発のための実証調査業務
- ・屋上緑化・壁面緑化の推進に向けた調査・検討業務

(2) 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 環境緑化に関する調査研究

緑化技術開発として「移植支柱の評価と耐風性試験」、「新野生種クマノザクラの都市緑化植物としての適性の検討」、「雨水貯留流出遅延量向上のための管理手法の検討」、「つる植物登はん抑制試験」、「屋上緑化防水リニューアル工検討プロジェクト」「緑のダム・灌水検討プロジェクト」を実施、一般社団法人韓国人工地盤緑化協会と「日韓屋上緑化国際セミナー準備会」を実施した。

また、環境緑化技術に関する研究活動及び本研究参加者の研究活動への理解を深めるため研究者発表会（ウェビナー形式）、セミナーを以下のとおり開催した。

令和4年度 環境緑化に関する研究者発表会
日 時 令和4年11月10日（木）14:00～17:15
開催方法 ウェビナー方式

講演 都市樹木の各種特性と防火効果

淡路景観園芸学校 准教授 岩崎 哲也

集合住宅地の植栽管理事例報告（基準値や樹木生理に基づく管理）

グリーンワークス 関 基治・おゆみ野緑研究室 伊東 伴尾

関東圏における地域性種苗を活用した緑化事例

箱根植木株式会社 マネージャー 渡邊 一樹

グリーンインフラ～様々な実践例～

プラネット株式会社 秋山 礼子

ホテル建築設計歴 43 年を経て建築の緑化を考える

内山緑地建設株式会社 山室 功

浸潤乾燥過程において体積変化のある資材の透水性と保水性の変化

東京農業大学 教授 藤川 智紀

みんなで考えよう都市の緑セミナー第1回 屋内緑化の薦め

日時 令和4年5月18日（水）10:00～12:00

開催方法 ウェビナー方式

講師 有限会社緑化技研 代表取締役 藤田茂

みんなで考えよう都市の緑セミナー第2回 生きた造園樹木を加害するイエシロアリ
4事例の対処経緯について

日時 令和4年9月15日（木）10:00～12:00

開催方法 ウェビナー方式

講師 直木技術事務所 代表 直木 哲

みんなで考えよう都市の緑セミナー第3回 都市のグリーンインフラと植栽・緑化を
考える

日時 令和4年12月15日（木）16:00～18:15

開催方法 ウェビナー方式

講師 エコ&ヒーリングランドスケープコンサル 代表 豊田 幸夫

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・R4 国営昭和記念公園他施設改修設計他業務

(3) 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

これまでの研究会活動の成果を踏まえ、さらに新たな技術開発に向けた検討を行なうため、「緑が関わるまちづくり」をテーマに、会員間の意見交換

を行った。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・グリーンインフラモデル公園構想等作成業務委託（朝霞市）

(4) 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査及び研究

1) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・アルメーレ国際園芸博覧会及びドーハ国際園芸博覧会出展調査
- ・2027年国際園芸博覧会の認定申請書の作成及びテーマ具体化に関する調査
- ・令和4年度海外における日本庭園保全再生方策検討調査
- ・ガーデンツーリズムの効果的な普及促進等を通じた観光振興に資する庭園の管理・保全技術の普及のあり方検討調査
- ・効果的効率的なフェア開催に向けた条件整理に係る支援業務委託（岐阜県）
- ・笠山椿群生林再生保全に関する報告書作成業務（萩市）

(5) 都市緑化フォーラム 2022

都市緑化フォーラム 2022 は、「新たな社会要請に対応した緑化技術開発」をテーマとし、コンパクトでグリーンなまちづくりへの転換についての講演、当機構内に設置している5つの共同研究会の活動の成果の発表、調査研究助成による助成対象論文、当機構の研究発表についてオンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式）にて以下の通り配信を行った。また講演、研究発表に関しての質疑応答（ウェビナー方式）を行った。

また、本研修会については令和4年7月4日（月）～7月8日（金）までの間、オンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式）にて配信を行った。

日 時	令和4年7月4日（月）～8日（金） （質疑応答は令和4年7月8日（金）13:00～15:00に実施）
開催方法	オンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式） （質疑応答はウェビナー方式で実施）
挨拶	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事 椰野 良明
基調講演	「-Grey Compact から Green Disperse へ-」 公益財団法人 都市緑化機構 理事長 横張 真
研究報告	研究発表1

「都立公園の指定管理者向けのユニバーサルデザイン研修」
ユニバーサルデザイン共同研究会 今野恵雄、板垣久美子、芳賀優子、
宮地奈保子、小林原生、杉山紫、
塚田和男、立石守、半田こづえ

研究発表 2

「これからの防災公園の役割について
～防災公園技術ハンドブックの活用～」
防災公園とまちづくり共同研究会 長沢真也、鈴木綾

研究発表 3

「コロナ禍で盛んになるガーデニング植物取扱予備知識の紹介」
グランドカバー・ガーデニング共同研究会（研究会員）

研究発表 4

「サステナブルな都市の緑の創出を目指して」
環境緑化技術共同研究会 藤田茂、橘大介

研究発表 5

「緑地における雨水貯留浸透機能に関する検討」
グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 益田宗則、戸田克稔

研究発表 6（調査研究助成対象論文）

「都市環境における建築物壁面を活用した植物栽培空間の創出」
高知大学大学院 嘉瀬井 祥太

研究発表 7

「ニューノーマルに対応した新しい緑地環境活用に関する調査について」
公益財団法人都市緑化機構 上席総括研究員 小酒井 淑乃
研究部長 今井一隆

なお、都市緑化に関する調査、研究、技術開発については、日本国内だけでなく海外も対象に行ったところであり、特に 2027 年に横浜市において開催が予定されている国際園芸博覧会を踏まえ、海外において今後開催される国際園芸博覧会における日本の緑化技術等の情報発信に関する調査、研究を継続して実施した。

4 都市緑化に関する評価

（1）社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

1) そだてる緑部門

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」部門について、新規審査 7 件（表中◎）、更新審査を 5 件、維持審査 15 件を実施した（令和 4 年度末現在の認定数は 36 件。認定後は更新審査（3 年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施）。

「Superlative Stage (スプラティブ・ステージ)」を永年にわたり、持続、発展、深化させてきた企業に対して、「緑の殿堂」として新規2件を授与した(花王株式会社 和歌山工場及び西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」)。

令和元年度末現在の「緑の殿堂」認定数は8件(表中◆印)となった(認定後は更新審査(5年ごと、現地審査)を実施)。

■そだてる緑部門 令和4年度認定緑地一覧

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台の緑地と ECCOM 駿河台	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡幸田町	2005
◆花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
◆ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007
株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所	東京都多摩市	2008
◆サンデン株式会社 サンデンフォレスト	群馬県前橋市	2008
◆西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター/日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ 広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
YKK 株式会社 黒部事業所 YKK センターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社/旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
三菱電機株式会社 受配電システム製作所	香川県丸亀市	2018
医療法人社団中郷会 新柏クリニックと周辺街区 (めぐりの庭、糖尿病みらい)	千葉県柏市	2019
佐川急便株式会社 佐川急便「高尾100年の森」	東京都八王子市	2019
首都高速道路株式会社 おおはしりの杜(大橋換気所)	東京都目黒区	2020
ローム株式会社 「森の中の本社工場」	京都府京都市	2020

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
独立行政法人都市再生機構 UR 賃貸住宅 常盤平団地	千葉県松戸市	2020
KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所 明治ホールディングス株式会社 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森	熊本県菊池市	2021
東レ株式会社 東海工場	愛知県東海市	2021
◎JESCO ホールディングス株式会社 JESCO 那智勝浦の保安林	和歌山県東牟婁郡 那智勝浦町	2022
◎株式会社ノーザンホースパーク ノーザンホースパーク	北海道苫小牧市	2022
◎戸田建設株式会社 筑波技術研究所	茨城県つくば市	2022
◎有限会社ノーザンレーシング 植苗社有林	北海道苫小牧市	2022
◎シチズン時計株式会社 本社東京事業所	東京都西東京市	2022
◎IDEC 株式会社 IDEC 本社/技術研究センター いずみの森	大阪府大阪市	2022
◎ダイキン工業株式会社 淀川製作所	大阪府摂津市	2022

2) つくる緑部門

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」部門について、令和4年度は以下の1件を新たに認定した。

■つくる緑部門 令和4年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
(仮称) 杉並区浜田山4丁目計画 (現 グランリビオ浜田山)	日鉄興和不動産株式会社ほか	東京都杉並区

3) 都市のオアシス部門

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、令和4年度は以下の1件を新たに認定した(令和4年度末の認定数は46件、認定後は更新審査(3年ごと、現地審査)を実施)。

■都市のオアシス部門 令和4年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
大阪梅田ツインタワーズ・サウス	阪神園芸株式会社	大阪府大阪市

(2) 都市緑化技術審査証明事業による評価

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を

促進し、都市の緑化に係る公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、令和4年度はその周知・広報等を実施した。

5 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

令和4年度は、以下の研究機関に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。なお、本事業の研究成果は機関誌「都市緑化技術」において発表を行った。

所属研究機関	氏名	研究テーマ
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科2年	浅尾 菜月	福岡市のコミュニティパーク事業による公園緑地を活用した見守り・交流創出効果の検証
京都大学大学院農学研究科 森林科学専攻博士後期課程3年	久保 登士子	子どもの豊かな育ちに資する緑地の質向上に関する研究
筑波大学大学院生命地球科学研究群 生物資源科学学位プログラム 博士前期課程1年	東 優樹	都市近郊林の木本植物群集がもつ機能的多様性の評価：都市緑地の生態系サービスの向上を目指して
東京都市大学大学院環境情報学研究科 都市生活学専攻修士課程2年	黒羽 広樹	住民の居住満足度の要因としての緑地と地域住民の繋がりとの相互作用に関する研究
筑波大学大学院人間総合科学研究群 芸術学系博士後期課程1年	田 子楽	農福連携を促す緑地のデザインと人材育成に関する研究

(2) 都市緑化技術研修会の開催

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえオンラインと併用で以下のとおり開催した。

日 時 令和5年1月19日(木) 10:00~16:50

参加者 74人

テーマ 「民間による公共的な緑地(仮称・公共民有緑地)の潮流と展望」

講 義 民間による緑化の推進・緑地の保全に向けた施策展開について

国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長 湯澤 将憲
コロナ禍を経験し人々のすまい・まちへの意向の変化-緑の評価も踏まえて-

横浜市立大学都市社会文化研究科 教授 斎藤 広子
民間発意の緑地づくりとタウンマネジメント

森ビル株式会社 タウンマネージメント事業部 中 裕樹
OECM と自然共生サイト

環境省自然環境局自然環境計画課 課長補佐 小林 誠
民有緑地の価値を引き出すデザイン手法について

株式会社ランドスケープ・プラス 代表 平賀 達也
東京都の緑化制度及び生物多様性保全を目的とした在来種植栽登録制度について

東京都環境局自然環境部緑環境課 松永 康治、計画課 小林 ちひろ
地方公共団体における民有緑地の活用例

恵庭市経済部全国都市緑化北海道フェア推進室 上山 謙太郎

(3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

令和4年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

No. 117 「アジアにおけるグリーンインフラの現在」

No. 118 「都市の水とみどりの新たな機能～流域治水とみどり～」

No. 119 「緑化関連制度と都市緑化」

発行部数 (各号) 2,000 部

配布箇所数 (各号) 1,000 箇所

(4) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。令和4年度における植樹保険の付保件数は、291件であった。

6 その他

(1) 訪問学習等への対応

学生等の訪問学習として、令和4年11月17日(木)に、埼玉県正智深谷高等学校の生徒9名の受け入れを行った。当機構の事業紹介や都市の緑の機能等を紹介し、都市緑化への理解促進に努めた。

(2) 都市緑化の活動を推進するための募金活動

令和4年度は、ホームページ等でのPRにより寄付の拡大に努めた。また、10月に実施した都市緑化キャンペーンにおいて募金活動等を実施した。

また、飲料を取り扱う事業者との連携により寄附型自動販売機の設置、運用に關しての取組みを実施した。

(3) 都市緑化基金等連絡協議会等への協力

都市緑化基金等連絡協議会（会員数 53 団体）の活動に事務局として協力した。事務局として理事会、総会の運営、情報誌の発行、研修会（全国都市緑化フェアの視察）を実施した。

7 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・令和4年5月31日（火） 第29回通常理事会
議案 令和3年度事業報告及び収支決算について
定時評議員会の開催について
報告事項 資産の運用状況の報告について
グローバル時代の「日本庭園」を考えるシンポジウムの開催について(実施報告)
第38回全国都市緑化くまもとフェアについて(実施報告)
アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)日本国出展について
第39回全国都市緑化北海道フェア開催について
ニューノーマルに対応した新しい緑地環境活用の実践について（国営昭和記念公園におけるリモートワーク実証実験）
寄附型自動販売機の設置について
- ・令和4年9月7日（水） 決議の省略による理事会（書面決議）
議案 定時評議員会の開催について
- ・令和4年10月17日（月） 第30回臨時理事会
議案 規程の一部改正について
公益目的事業「公1」（1）3）及び（3）2）の終了について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について
都市の緑3表彰の受賞団体について
アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)日本国出展について
第39回全国都市緑化北海道フェアについて

- ・令和5年3月6日（月） 第31回通常理事会
 - 議 案 令和5年度事業計画及び収支予算について
 - 令和5年度資産運用方針について
 - 都市緑化基金（特定資産）の運用益の処分について
 - 規程の一部改正について
 - 役員賠償責任保険契約の加入・更新について
 - 報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
 - 第5回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について
 - 第40回全国都市緑化仙台フェア及び2023年ドーハ国際園芸博覧会について

（2）評議員会

- ・令和4年6月22日（水） 第10回定時評議員会
 - 議 案 令和3年度収支決算について
 - 評議員の選任について
 - 理事の選任について
 - 報告事項 令和3年度事業報告について
 - 令和4年度事業計画及び収支予算について
 - 資産の運用について
 - 第4回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について
 - グローバル時代の「日本庭園」を考えるシンポジウムの開催について(実施報告)
 - 第38回全国都市緑化くまもとフェアについて(実施報告)
 - アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)日本国出展について
 - 第39回全国都市緑化北海道フェア開催について
 - ニューノーマルに対応した新しい緑地環境活用の実践について（国営昭和記念公園におけるリモートワーク実証実験）
 - 寄附型自動販売機の設置について
- ・令和4年10月7日（金） 第11回臨時評議員会(決議の省略による評議員会(書面決議))
 - 議 案 評議員の選任について

8 評議員、理事、監事の異動

（1）評議員

令和4年5月30日付け
退任 椋田 哲史

令和4年6月22日付け
就任 塚谷 裕一

令和4年10月7日付け
就任 岩村 有広

(2) 理事

令和4年3月31日付け

退任 為国 浩二

退任 勝見 有二

令和4年6月22日付け

就任 奥村 義康

就任 北村 博明

(3) 監事

なし

※令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

